

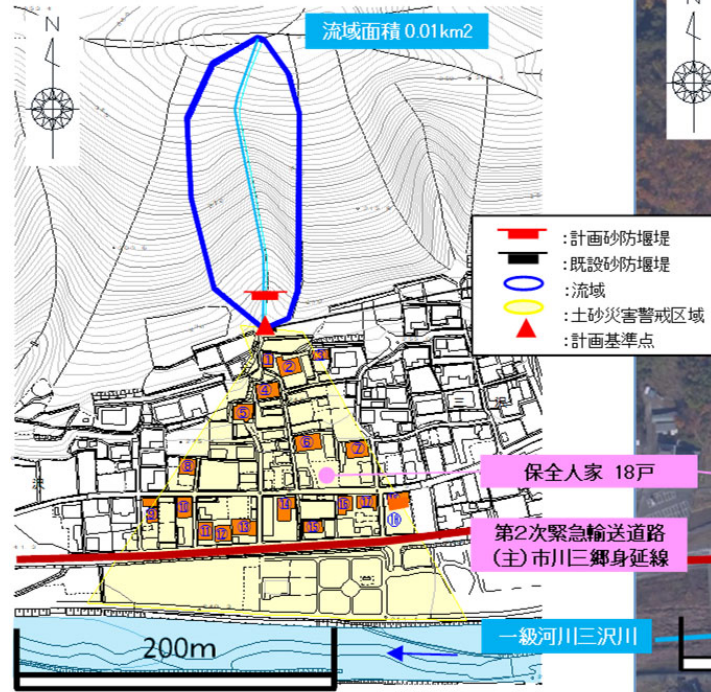
1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

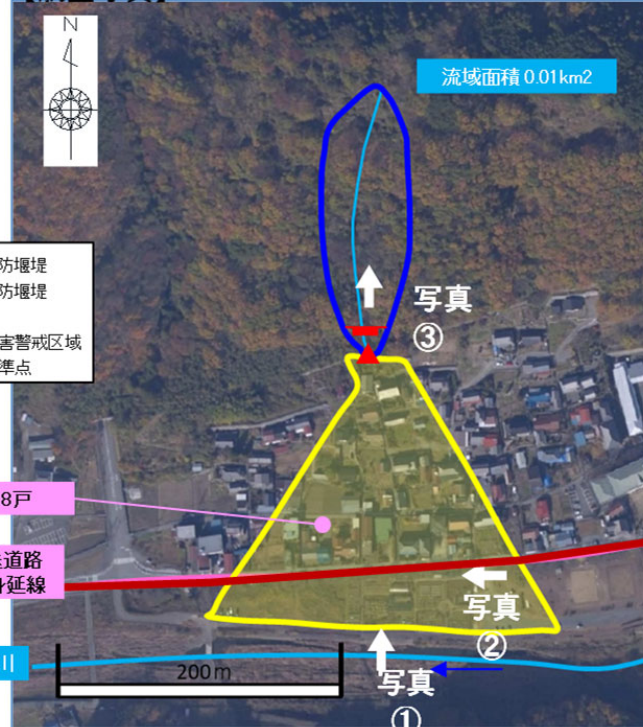
事業名	砂防事業〔通常砂防事業（国補）〕	事業箇所	南巨摩郡身延町三澤	地区名	大草上の山沢（オオクサウエノヤマサワ）	事業主体	山梨県																																						
（1）事業の概要 ①課題・背景 本溪流は流域面積0.01km ² と小規模な溪流ではあるものの土砂災害警戒区域に指定されている。溪床勾配1/1.9の急峻な溪流で、流域内には不安定土砂や倒木が確認されるため台風や集中豪雨時には、土石流発生の危険性が高まっている。 下流保全対象は、人家18戸、第2次緊急輸送道路などが存在し、土石流が発生した際には甚大な被害となる恐れがある。このため、砂防施設を早急に整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				（3）事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 妥当 妥当でない ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 ○ ③経済妥当性 ○ <table><tr><td>総事業費</td><td>210 百万円</td><td>工期</td><td>R8～R12</td><td>基準年</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="5">経済効率性</td><td>費用</td><td>182 百万円</td><td>便益</td><td colspan="2">1,583 百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>181 百万円</td><td>一般資産被害抑止</td><td colspan="2">371 百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>1 百万円</td><td>公共土木施設等被害抑止</td><td colspan="2">129 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>人身被害抑止</td><td colspan="2">55 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他※</td><td colspan="2">1,028 百万円</td></tr><tr><td colspan="3">B/C</td><td colspan="3">8.7</td></tr></table> ※その他は、応急対策、人的被害(精神的損失) 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費	210 百万円	工期	R8～R12	基準年	R7	経済効率性	費用	182 百万円	便益	1,583 百万円		建設費	181 百万円	一般資産被害抑止	371 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	129 百万円				人身被害抑止	55 百万円				その他※	1,028 百万円		B/C			8.7		
総事業費	210 百万円	工期	R8～R12	基準年	R7																																								
経済効率性	費用	182 百万円	便益	1,583 百万円																																									
	建設費	181 百万円	一般資産被害抑止	371 百万円																																									
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	129 百万円																																									
			人身被害抑止	55 百万円																																									
			その他※	1,028 百万円																																									
B/C			8.7																																										
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%未満※ ・重要公共施設の有無 有 第2次緊急輸送道路 (主)市川三郷身延線 (保全対象＝人家18戸、県道190m、町道315m) ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ○被災時の被害波及の防止（緊急輸送道路）				④事業実施・規模の妥当性 ○ 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である ⑤整備手法の有効性 ○ 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした ⑥環境負荷等への配慮 ○ 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する ⑦事業計画の熟度 ○ 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている																																									
（2）整備内容 ①整備内容 小規模溪流向け杭式土石流・流木対策工1基 H=11.0m、L=21.2m ②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和12年度 ④総事業費 約210百万円				総 合 評 価 〔貢献度ランク：a〕																																									
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和8～9年度 測量、詳細設計、地質調査 40 百万円 令和10年度 用地測量調査、用地取得・補償 10 百万円 令和11～12年度 砂防堰堤工 160 百万円				（4）事業位置図等 																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 なし																																													

2. 添付資料シート

【流域概要図】



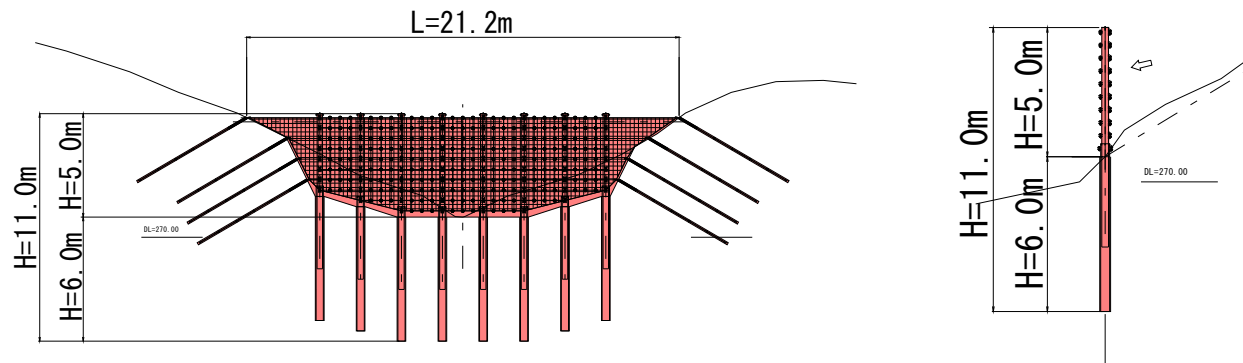
【航空写真】



側面図

(下流側) (上流側)

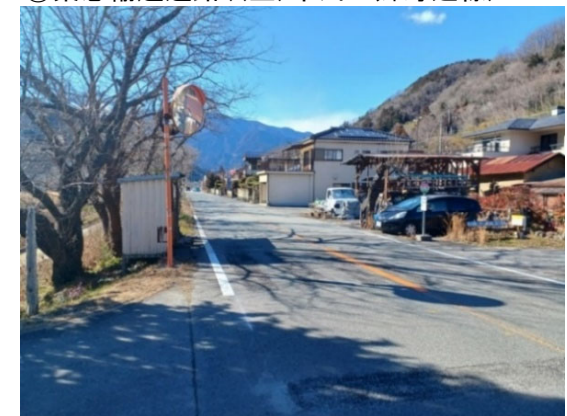
正面図



①保全対象全景



②緊急輸送道路((主)市川三郷身延線)



③荒廃状況

